

【導入事例】ICT ツール「園支援システム＋バスキャッチ」を導入した 埼玉県・片柳幼稚園の導入事例インタビューを無料公開

VISH 株式会社（所在地：愛知県名古屋市、代表取締役：田淵 浩之）は、幼稚園・保育園・認定こども園の園業務負担軽減を支援する ICT ツール「園支援システム＋バスキャッチ」を導入した学校法人片柳学園 片柳幼稚園（所在地：埼玉県さいたま市、理事長：橋本 義）の導入事例インタビューを 2023 年 10 月 20 日に無料公開したことをお知らせします。

導入事例記事全文はこちら：<https://voice.buscatch.com/katayanagi>



理事長 橋本 義 様

園長 橋本 道子 様

学校法人片柳学園 片柳幼稚園

(埼玉県さいたま市)

■ 幼稚園基本情報

- ・1963 年設立
- ・園児数合計 270 名
年少・年中・年長の各学年 3 クラス
- ・教職員は合計 31 名
- ・バスは 3 台で 9 コース運行
- ・2019 年 9 月より「園支援システム＋バスキャッチ」を導入

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社（ヴィッシュ株式会社） 担当：齊藤 弘志 TEL：052-232-2311 MAIL：info@buscatch.com

【導入前の状況】

- ・導入前、保護者への連絡はメール配信システムを使っていた
- ・欠席の連絡は朝、保護者から電話をしていただいて、ノートに書いて、クラス担任はそのノートを見て欠席者の確認をしていた
- ・預かり保育の申し込みは園にノートを置いておき、送り迎えなどの際に保護者に記入していただいていた
- ・預かり保育料は園でチケットを作成して、それを事前に現金で購入していただいていた

【導入のきっかけ】

- ・2019年10月1日から「幼児教育の無償化」がスタート
- ・預かり保育管理のシステム化を検討していた

【導入の決め手】

- ・一番はこちらが必要としている機能をすべて持っていたこと。そして、導入しやすい金額
- ・比較検討したシステムの中にはインisialコストで70万円、さらに高額なランニングコストが必要、というものもあった
（「園支援システム+バスキャッチ」は初期費用：無料から、月額費用：9,000円から）
- ・「園支援システム+バスキャッチ」は園児数に関係なく、一定の金額設定

【導入効果】

- 1.朝7時30分ころから鳴り始める欠席連絡の電話が、ほとんど鳴らなくなった。保護者の利便性も高まった
- 2.預かり保育の集計がかなり便利になった。自動で請求に反映される。手作業で行うことは、いまでは想像できない
- 3.指導要録の「学籍に関する記録」は子どもたちのデータが自動反映。「指導及び保育に関する記録」の作成はしやすくなっている
- 4.未就園児の段階から保護者にアプリを入れてもらい、利便性を知っていただくことで、当園への入園にもつながっている
- 5.お便りは、先生たちからの紙で見て欲しいという声、保護者からの紙でも欲しいという声にお応えして、紙とPDFのハイブリッド

【今後の活用について】

- ・用品注文を活用して、園のキャッシュレス化を進めていきたい

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社（ヴィッシュ株式会社） 担当：齊藤 弘志 TEL：052-232-2311 MAIL：info@buscatch.com

【園支援システム+バスキャッチについて】

2010年にリリースされた「園支援システム+バスキャッチ」は、園バス運行情報、園児管理を中心に、保護者の連絡手段のデジタル化、教職員の働き方改革に寄与する低価格なクラウドサービスです。2023年10月時点で、全国で2,300以上の幼稚園・保育園・認定こども園で利用されています（解約・閉園除く）。

園支援システム公式サイト：<https://www.buscatch.com/solution/kindergarten/>

【会社概要】

- ・会社名：VISH 株式会社（ヴィッシュ株式会社）
- ・所在地：愛知県名古屋市中区錦二丁目10番13号 SC 錦 ANNEX5F
- ・設立：2004年12月
- ・資本金：11,500,000円
- ・代表者：代表取締役 田淵 浩之
- ・企業サイト：<https://www.vish.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社（ヴィッシュ株式会社） 担当：齊藤 弘志 TEL：052-232-2311 MAIL：info@buscatch.com